

ぜん ぎょう じ
善巧寺報

4 月号

月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660
榎本明覚

▼二〇二二年四月一日▲



● 鬱金香 (チューリップ) ●
チューリップの花の香りがウコンの香りに似ていた事から中国では「鬱金香 (うっこんこう)」と呼ばれました。日本では大正7年、厳しい農家経営を救うため、東砺波郡庄下村の水野豊蔵さんが10個の球根から栽培を始め、現在では富山県の県花となり約300品種が栽培されています。

季節の花

～ 鬱金香 (チューリップ) ～

定例法座

毎 月 十 一 日

＊ はなまつり ＊

◎ 四月十一日(日)

午後二時～三時

於 本 堂

「釈迦・弥陀は慈悲の父母」

四月八日は、お釈迦さまのお

誕生日として全国で誕生仏に甘

茶をかけてお祝いする灌仏会かんぶつえ

(春の花が一齐に咲きだす時節

から「はなまつり」とも呼ばれ

ます)が行われます。善巧寺でも

十一日の定例法座では花御堂をはなみどう

設けてお祝いいたします。

さて、浄土真宗のご本尊は阿

弥陀仏(南無阿弥陀仏)ですが、そ

の阿弥陀さまとお釈迦さまとの

関係はどのようなものなのでしょう。

親鸞聖人のご和讃に、

釈迦弥陀は慈悲の父母ぶちも

種々に善巧方便しぜんぎょうほうべん

われらが無上の信心を

發起せしめたまひけり

とあります。お釈迦さまは

様々な機根(性質や能力)の異なる

人々に合わせ悟りに至る教え

を説かれました。これを対機説

法と言います。お釈迦様の説法

の目的は、本当の智慧と慈悲を

備え、自ら生老病死の苦悩を解

決し、未だ苦悩の渦中にある他

者を我が事の如く慈しみ、心穩

やかにされるよう働きかける、

そのような仏と成す事にありま

す。ところが何事も自己中心に

考え煩惱に動かされて日々生き

る私たち凡夫にとつては至難の

わざ。お釈迦様は様々な教えを

説き、私たちに「成仏は、もは

や自力によつては成しえない」

と知らしめ、どのような者をも

捨てないと誓われた阿弥陀仏の

本願に誘い入れようとされたの

でした。

※緊急事態宣言は解除になり

ましたが、なおも感染拡大傾向

が続いております。お寺として

も清掃時の消毒・常換気を行つ

ておりますが、リスクをご勘案の上ご参拝下さいますようお願いいたします。

みほとけ会月例会

※ ZOOM ミーティング ※

みほとけ会では感染対策のため引き続き、ZOOMを用いたインターネット法話座談会を開催中。ただし、「真宗十派の歴史」と題して浄土真宗の歴史を学んでいます。次回四月十五日は第五回目、室町時代中期～おまたせしました蓮如上人の時代です。

開催日時は、

毎月第一木曜日、第三木曜日

午後八時開始・九時終了

参加ご希望の方は、

jetfidget@gmail.com

まで

メールをお願いします。開催当日夕方に招待メールを返信いたしますので、開催場所「QR」をクリック、パスワードを入力してご入室下さい。

◆◆春日部だより◆◆

◎お彼岸には早々に桜満開。お寺では八重桜も一斉に咲きだしています。コロナコロナの毎日ですが静かに桜を愛でるのも良い気分転換になります。去年の秋ごろは、今冬は大雪になるかもしれませんと報道されていたので、品切れになっては大変と雪かきスロップを新調したのですが全く自動機無し。まあ備えあれば、ですね。

◎お彼岸に参詣させていただいた東京・神奈川の皆様ありがとうございました。ワクチンの接種が広く行き届くまではまだまだ油断できません。たんたんとう洗い・手指消毒・外出時のマスク着用など引き続き行ってまいりましょう。

◎茨城県鉾田市の無量寿寺さま火災へのカンパご協力ありがとうございました。善巧寺と門信徒有志の方々、合わせて五万円をお見舞として送金致しました。



※『総永代経法要』について
感染第四波が懸念されている事を鑑み、例年五月勤修の総永代経法要は参拝中止といたします。住職のみ出勤、YouTubeにて法要配信を行う予定です。詳細は次号お伝えいたします。